

県内景況は、コロナ禍による低迷続く

新型コロナ新規感染者数が再び急増しており、更なる影響懸念

～景況 DI 値は、前年同月比7.8ポイント上昇のマイナス47.4～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 11月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比47.4ポイント低下のプラスマイナス0、前年同月比10.3ポイント上昇のマイナス42.1。非製造業では、前月比同水準のプラスマイナス0、前年同月比47.4ポイント低下のマイナス52.7。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比同水準のマイナス21.0。非製造業では、DI 値前月比同水準のプラスマイナス0、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス10.6。

収益状況 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス52.7。非製造業では、前月比同水準のプラスマイナス0、前年同月比10.6ポイント上昇のマイナス36.8。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント上昇のプラス5.2、前年同月比15.7ポイント上昇のマイナス21.1。非製造業では、前月比同水準のプラスマイナス0、前年同月比10.6ポイント上昇のマイナス26.3。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント上昇のプラス5.3、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス15.8。非製造業では、前月比0.1ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス26.3。

景況 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス57.9。非製造業では、前月比21.0ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比10.6ポイント上昇のマイナス36.8。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比13.2ポイント低下のマイナス13.2、前年同月比7.8ポイント上昇のマイナス47.4となった。製造業では、食料品関連の一部でGoToキャンペーン等需要喚起策に伴う持ち直しの動きはあるものの回復まではいかず、全体としては、依然としてコロナ禍による低迷が続いている。非製造業では、観光関連ではGoToキャンペーン等需要喚起策による回復傾向がみられるものの、コロナ新規感染者数増加に左右されるなど不透明感が続いている。県内景況は、依然としてコロナ禍による低迷が続いており、国等の需要喚起策の効果により一部業種で持ち直すも、新型コロナ新規感染者の数が再び急増しており、今後更なる影響が懸念される。

2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

11月の全国倒産は、件数563件で、11月としては2000年以降最小となった。負債総額は952億1,200万円（負債総額1,000万円以上）で、4カ月連続の前年同月比減少となり、負債額についても11月としては2000年以降最小となった。不況型倒産の合計は429件、構成比は76.2%、負債規模別では、負債5,000万円未満の倒産は364件、構成比は64.7%を占めた。

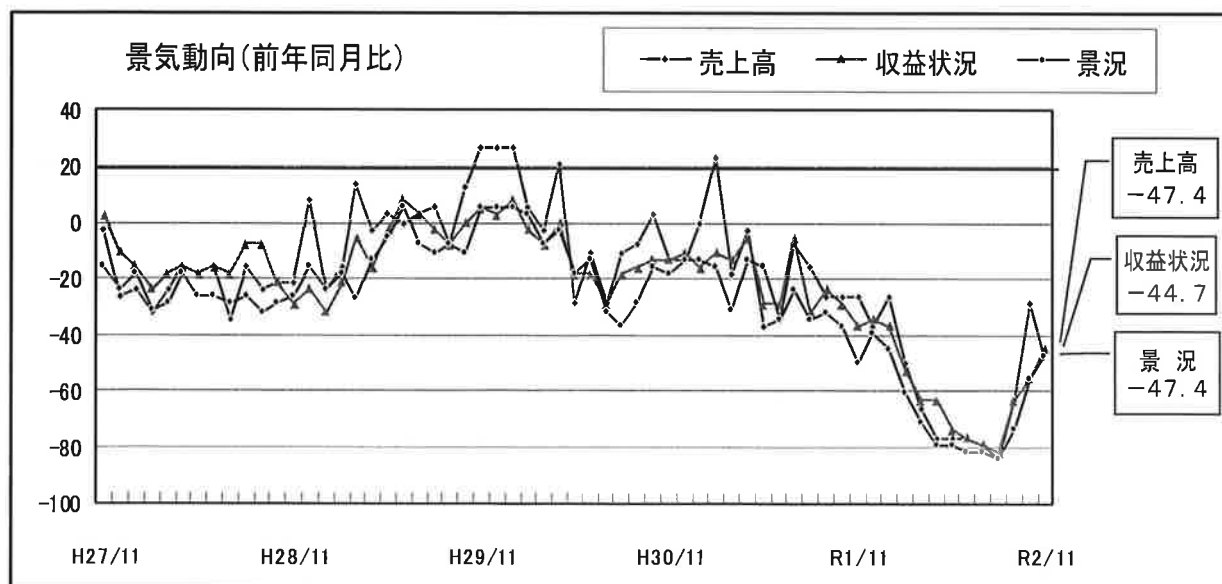
一方、11月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数2件（前月2件）、負債総額は4億6,400万円（前月11億円）で、業種別では、建設業1件、サービス業1件、主因別では、販売不振2件となった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報10月分」）

鳥取県の10月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.20倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.04倍）で、前月より0.01ポイント上昇した。各所別有効求人倍率では、鳥取所1.16倍、米子所1.30倍、倉吉所1.34倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.30倍（季節調整値）で、前月より0.02ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比20.1%減少し、有効求人数は23.6%の減少となった。産業別に前年同月と比較すると、公務・その他では（0.9%）微増したが、ほとんどの業種で減少した。

新規求職者数は、前年同月比10.0%減少し、有効求職者数は6.5%増加した。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.26倍で、前年同月を0.57ポイント下回った。新規求人数は前年同月を19.6%下回った。



11月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	31.6%	31.6%	0.0 -47.4	31.6%	36.8%	0.0 0.0	31.6%	34.2%	-2.6 -23.7
(2) 在庫数量	5.3%	10.5%	-5.2 0.1	16.7%	33.3%	-16.6 -16.6	9.7%	19.4%	-9.7 -6.5
(3) 販売価格	5.3%	5.3%	0.0 5.2	10.5%	10.5%	0.0 0.0	7.9%	7.9%	0.0 2.6
(4) 取引条件	0.0%	0.0%	0.0 0.0	5.3%	5.3%	0.0 0.0	2.6%	2.6%	0.0 0.0
(5) 収益状況	15.8%	26.3%	-10.5 5.3	26.3%	26.3%	0.0 0.0	21.1%	26.3%	-5.2 2.7
(6) 資金繰り	10.5%	5.3%	5.2 5.2	15.8%	15.8%	0.0 0.0	13.2%	10.5%	2.7 2.7
(7) 設備操業度	15.8%	15.8%	0.0 5.3						
(8) 雇用人員	5.3%	0.0%	5.3 5.3	10.5%	15.8%	-5.3 -0.1	7.9%	7.9%	0.0 2.7
(9) 景 況	5.3%	21.1%	-15.8 -5.2	15.8%	26.3%	-10.5 -21.0	10.5%	23.7%	-13.2 -13.2

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	21.1%	63.2%	-42.1 10.3	10.5%	63.2%	-52.7 -47.4	15.8%	63.2%	-47.4 -18.4
(2) 在庫数量	10.5%	10.5%	0.0 26.3	8.3%	25.0%	-16.7 -16.7	9.7%	16.1%	-6.4 9.7
(3) 販売価格	5.3%	26.3%	-21.0 0.0	10.5%	21.1%	-10.6 -10.6	7.9%	23.7%	-15.8 -5.2
(4) 取引条件	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	5.3%	10.5%	-5.2 15.9	2.6%	7.9%	-5.3 7.9
(5) 収益状況	10.5%	63.2%	-52.7 10.5	15.8%	52.6%	-36.8 10.6	13.2%	57.9%	-44.7 10.6
(6) 資金繰り	10.5%	31.6%	-21.1 15.7	10.5%	36.8%	-26.3 10.6	10.5%	34.2%	-23.7 13.1
(7) 設備操業度	5.3%	57.9%	-52.6 -10.5						
(8) 雇用人員	5.3%	21.1%	-15.8 5.3	0.0%	26.3%	-26.3 -10.5	2.6%	23.7%	-21.1 -2.7
(9) 景 況	0.0%	57.9%	-57.9 5.3	15.8%	52.6%	-36.8 10.6	7.9%	55.3%	-47.4 7.8

*D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ GoTo イート、GoTo トラベル等需要喚起策により、人の流れが活発となり、観光土産品や飲食店向け商品がコロナ禍前の7～8割回復した。

醬 油⇒ GoTo イート、GoTo トラベル等需要喚起策により、コロナ禍で落ち込んだ売上高は増加してきたが、前年並みまでは回復していない。第3波が拡大してきており、業務用の落ち込みが懸念される。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 婦人服では、コロナ禍により業界浮上の兆しがみえない。雇用調整助成金活用期間中に、委託生産の取引件数の確保や新規取引を進め、リスク分散していく必要がある。座席シート縫製では、自動車生産ラインの稼働により、座席シートの発注も徐々に増えてきてはいるが、新型コロナ関連製品の売上げに依存している状況が続いている。

ニット製品⇒ 来年春物夏物商品の発注減を受けて、生産現場の操業度維持が困難になりつつあり、アフターコロナの様相がみえない状況が続いている。冬物衣料の消費の動きも鈍く、業界全体が縮小している。

【家具装備品】

⇒ 売上高は、前月比、前年同月比ともに増加。県内新型コロナ感染者が増加傾向にあり状況は良くなかったが少し改善した。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比わずかに増加。合板の生産量も前月比で増加。出材量は例年に比べて少なく、引き合いは強い。出材の減少する冬期に向けての在庫確保も進めている。プレカット加工の稼働率は、前月比不変、前年同月比45%減少。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 売上高、設備操業度ともに、まだ例年通りとはいかないが、ある程度回復してきた。年内までこの状態が続くことが予想されるが、年明け以降の需要動向が不安要素を含んでいるため楽観視はできない。

【印 刷】

⇒ 年末に向けたチラシに中止または部数減が見られ、会報誌、報告書のページ数減も多数あり、例年なら年末多忙となるところだが、雇用調整助成金を活用し落ち着いた状態。販売価格を上げる努力をしているが、上昇とまではいえない。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 11月の生コン出荷量は、前年同月比で80%。地区別の出荷状況は、東部地区77%、中部地区62%、西部地区94%。運輸担当や若手技術者の人材不足と設備の老朽化が進んでいる。県内各工場は適正生産規模を大きく割り込んでおり、地区によっては集約化を進めるも、更

なる工場集約化を進めなければ経営が難しい状況。西部では価格改定を12年ぶりの値上げを行い、経営面改善につながることを期待している。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、引続き、県外物件を確保できる事業所は仕事があるが、県内中心の事業所は仕事の確保が難しくなっている。収益面では、建材（特に型鋼）価格上昇と元請けの受注競争により、厳しい状況。機械加工は、コロナ禍の影響により、県東部の得意先の休業（雇用調整助成金活用）が続いている。自動車関連を中心に、忙しくしている得意先もあるが、事業所により差が大きくなっている。

鉄骨加工⇒ 主要な事業所の受注残は3～9ヶ月と幅があるものの十分な量を確保しており先月までの先行き不透明感はなくなりつつある。来年度発注の予算見積も出てきている。メーカーはH型鋼とC型鋼の単価改定を発表しており、今後の鋼材費の上昇により収益状況に影響が出てくる。

金属熱処理⇒ 9月から回復の兆候が見え始め、比較的順調な受注状況にある。前年度同月比では、2カ月連続で上回っている。ただし、増加は一部の特定顧客の増産による依存度が更に増加傾向となっていて、製造業全体の景気回復とは言い難い。中京地区の自動車業界の回復は著しいが、その他の地区は地域差が顕著で、ものづくり全体の回復には至っていない。

【電気機械器具】

⇒ 車載関係が動き始めたが、大手電機メーカーの受注は依然低迷している。リモートワークなどに使われるPCなどの生産はかなり忙しく年明けまでフル生産が見込まれる。例年とは違う動きで先行きが見通せない。

非 製 造 業

【卸 売 業】

東 部 地 区⇒ 良い業種と悪い業種が明確に分かれている。事務機器、建築、スーパー関連食品卸は良く、広告イベント、包装資材関連は悪い。青果関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに減少。鮮魚関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに増加。第3波により飲食店等への規制がかかることが懸念される。

中 部 地 区⇒ コロナ感染対策商品の受注により、売上高増加、収益状況も好転したが、一般事務機用品は厳しい状況が続いている。

西 部 地 区⇒ 一部で新型コロナ感染防止対策等による回復感が乏しい。デパートや飲食店を取引先とする一部事業所も同様な状況。

水 産 物⇒ 巻網漁は、昨年を若干上回る水揚げとなったものの、例年の盛漁期には程遠く、沈滞ムードが漂う月となった。底引き松葉ガニ漁は順調な水揚げとなったが、中旬から解禁となったカニかご漁は不振であり GoTo トラベル、GoTo イート等の影響で近年にない需要増に供給が間に合わない状況となり近年にない浜高で推移した。その反面、加工を中心とする紅ズワイガニは、コロナ禍の影響で外食関係からの引き合いが高まらず

例年同期としては比較的安価な浜値段となった。

リサイクル原料⇒ 国内鉄スクラップ市況は、国内全域で需給がタイト化している事と、輸出市場で成約価格が上昇したため、月末にかけて続伸した。古紙市況は横ばい状態。非鉄金属は、投機資金が入ったため上昇基調が続いた。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取市の商店街では、少し動きが出てきたがコロナ禍の影響で厳しい。飲食関連はGoTo キャンペーン関係で、利用客が増え、前年に近いところまで戻した店舗もあった。しかし、どの店舗もコロナ感染者数に敏感に反応が出ている。また少人数客が大半で、団体客がほとんどない状態で厳しい経営状況。宿泊関連は満室に近い状況が続いている。

中 部 地 区⇒ 倉吉市の商店街では、コロナ禍により消費行動が上向かないなか、GoTo トラベルで若干観光バスが来るようになった。また、家族旅行も増えてきたが、第3波で人出がパタッと止まった。観光シーズンであるが、地元の人も観光客も新型コロナ感染者数に左右されている。商店街では、今後、GoTo 商店街事業に向かって取り組みを進めている。

西 部 地 区⇒ 米子市の商店街では、「秋の加茂川まつり」が加茂川広場で開催され、また、GoTo 商店街事業に採択された元町通り商店街で「サンロードマーケット」も開催され、コロナ禍のなか、家族連れなどで賑わいをみせた。

境港市の水産物小売は、GoTo トラベル等で来客数は増加しているが、コロナ感染者増加が報道されると、その数字に左右される状況も垣間見える。松葉ガニは年々価格の上昇がみられるが、今年は多少高騰しても購入する消費者が増えている。特に通販や地方発送については対前年比1.5倍となっている。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、GoTo トラベルにより鳥取砂丘、砂の美術館への入込数は増加で推移していたものの、コロナ感染者増加の影響で、急激に入込数が減少した。売上高は前月比で不変、前年同月比で増加となり収益状況は好転した。第3波の影響で観光バスツアーの予約キャンセルも発生しており、入込数の減少で景気悪化が懸念される。

米子市のホテル・旅館では、行楽シーズンでもあり、またGoTo キャンペーンにより、宿泊客が増加し、高単価志向へとシフトしたため、前月比で売上高は増加し、収益状況も好転した。GoTo キャンペーンの効果は大きく売上増加に貢献しているが、繁忙により人手不足が発生している。

三朝温泉では、売上高は、前月比で増加、前年同月比不変。GoTo トラベルにより状況は好転しつつある。

大山では、売上高は、前月比、前年同月比ともに減少した。

【自動車整備業】

⇒ 新車販売実績は、普通乗用車は前年同月比約4%減少、軽乗用車は約1%減少。普通貨物車は約16%増加、軽貨物車は約17%増加。継続検査を含む中古車の台数は、普通車は約7%減少、軽自動車は約2%減少。新車販売は前年同月比では乗用車は小幅な減少、貨物車は15%

程度の増加となっており、自家用と業務用で明暗を分けた。

【建設業】

⇒ 10月の県内公共工事発注は、請負金額83億円（前年同月比31%減）、件数204件（同12%減）で、年度累計（4月～10月）でも、請負金額767億円（前年同月比0.1%減）、件数1,312件（同10%減）となった。民間設備投資も2カ月ぶりのマイナスとなり、年初からのマイナス基調が続いている。住宅建設では、貸家系が大幅にプラスとなり、全体でも2カ月ぶりのプラスとなるも横ばい圏内で弱含んでいる。今後も災害復旧を含む公共投資は堅調推移見込めるも、新築・リフォームなどの住宅関連や民間設備では当面は厳しい状況が続く。

前払金保証取扱から見た県下公共工事の動向（11月）は、件数113件（前年同月比28%減）、請負金額34億円（同41%減）となった。請負金額地区別状況（11月末累計）は、東部地区（前年対比9%増）、八頭地区（同20%減）、中部地区（同25%減）、西部地区（同3%増）、日野地区（2%減）となった。

10月の鳥取県新設住宅着工戸数は225戸（持家142戸、貸家83戸）で、前月比4%増加、前年同月比39%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 製造業の一部で生産調整もあったが概ね横ばいで推移、輸送量の低下した状況は変わっていない。農産物の輸送も依然として低調となっている。復路荷物の情報に増加傾向がみられ、空車で帰る車両も減少しているが厳しい状況は続いている。売上高は、前月比減少、前年同月比減少。燃料価格は横ばいで推移しているが収益状況は依然として厳しい。

西部地区⇒ 青果物は小玉傾向が続き、西伯郡旧会見町の富有柿も出荷数量は伸び悩んだ。大手製造業でも入出庫とも輸送量は減少したままで推移、往路復路ともに低調となり、空車回送が多く見受けられるようになった。燃料価格は12月3日開催に延期となった「OPEC プラス」の内容次第。またアメリカ大統領選挙の結果、新大統領バイデン氏は環境保護下でシェールオイルの生産に消極的であり原油価格を押し上げる要因にもなるが、イラン核合意への復帰の可能性を示唆しており、イラン原油の輸入再開により原油価格を押し下げる要因になる。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・イベント等の中止により影響が出始めており対策を望む。【印刷業】
- ・コロナ過での雇用マッチング対策。【電子部品製造業】
- ・外国人技能実習生の隔離機関ホテル費用の助成。【電子部品製造業】
- ・「WeLove 鳥取キャンペーン」のような近隣で経済を回す方策や、給付金の充実などをすべき。【商店街】
- ・GoTo 商店街事業にご支援ご協力を。【商店街】
- ・GoTo トラベルキャンペーン他、観光施策の継続。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2019年		2020年											前年との 増減幅
		11月	12月	1月	2月										
売 上 高	製 造 業	-21.0	-21.0	-42.1	-15.8	-63.1	-78.9	-78.9	-21.1	-26.3	-47.4	5.3	47.4	0.0	21.0
	非製造業	-15.7	-26.3	-68.4	-21.0	-36.9	-68.4	-52.6	10.5	0.0	-5.2	5.3	0.0	0.0	15.7
	全 業 種	-18.4	-23.7	-55.3	-18.5	-50.0	-73.7	-65.8	-5.2	-13.2	-26.3	5.3	23.7	0.0	18.4
在庫数量	製 造 業	-10.5	-5.2	-10.5	-21.0	0.0	0.0	-15.8	-5.3	-5.2	-10.5	-10.5	-5.3	-5.2	5.3
	非製造業	-16.7	-16.7	-25.0	-8.3	-8.3	-16.7	-8.3	0.0	-33.4	-41.7	0.0	0.0	16.6	33.3
	全 業 種	-12.9	-9.7	-16.1	-16.1	-3.2	-22.6	-12.9	-3.3	-16.1	-22.6	-6.5	-3.2	-9.7	3.2
販売価格	製 造 業	-5.3	-5.3	-10.5	0.0	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	0.0	5.3
	非製造業	-10.5	0.0	-15.8	-15.8	-31.6	-26.3	-26.3	-21.1	-21.0	5.3	-26.3	0.0	0.0	10.5
	全 業 種	-7.9	-2.6	-13.2	-7.9	-21.0	-18.4	-18.4	-15.8	-13.1	2.6	-15.8	-2.6	0.0	7.9
取引条件	製 造 業	0.0	0.0	-10.5	0.0	-15.8	-15.8	-5.3	-5.2	-10.5	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0
	非製造業	0.0	-5.3	0.0	-15.8	-21.1	-26.3	-21.1	-21.1	-21.1	-5.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	全 業 種	0.0	-2.6	-5.3	-7.9	-18.4	-21.1	-13.2	-13.2	-15.8	-2.7	2.7	0.0	0.0	0.0
収益状況	製 造 業	-31.5	-42.1	-42.1	-21.0	-52.6	-47.3	-57.9	-31.6	-21.1	-31.6	-10.5	-15.8	-10.5	21.0
	非製造業	-5.3	-31.6	-52.6	-26.3	-52.7	-73.7	-57.9	-15.7	-5.3	-21.0	-21.0	0.0	0.0	5.3
	全 業 種	-18.4	-36.8	-47.4	-23.6	-52.6	-60.6	-57.9	-23.7	-13.2	-26.3	-15.8	-7.9	-5.2	13.2
資金繰り	製 造 業	-42.1	-36.8	-31.6	-21.0	-36.8	-42.1	-26.3	-26.3	-10.5	-5.3	10.5	0.0	5.2	47.3
	非製造業	-15.8	-26.3	-26.3	-42.1	-57.9	-63.2	-42.1	-42.1	-36.8	-26.3	-31.6	0.0	0.0	15.8
	全 業 種	-28.9	-31.6	-28.9	-31.6	-47.4	-52.7	-34.2	-34.2	-23.7	-15.8	-10.5	0.0	2.7	31.6
設備操業度	製 造 業	-15.8	-10.5	-15.8	-10.6	-26.3	-57.9	-42.1	-21.0	-21.0	-15.8	10.6	-5.3	0.0	15.8
雇用人員	製 造 業	5.2	5.2	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.1
	非製造業	-10.5	-5.2	-26.3	-15.8	-26.3	-31.5	-31.6	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-5.3	5.2
	全 業 種	-2.6	0.0	-18.5	-13.2	-15.8	-21.1	-21.1	-15.8	-5.3	-5.3	-5.3	-2.7	0.0	2.6
景 況	製 造 業	-57.9	-52.6	-52.6	-47.4	-57.9	-73.7	-52.6	-57.9	-47.3	-31.6	-26.3	-10.6	-15.8	42.1
	非製造業	-31.6	-42.1	-57.9	-63.2	-57.9	-78.9	-73.6	-47.4	-31.6	-15.8	-31.5	10.5	-10.5	21.1
	全 業 種	-44.7	-47.4	-55.3	-55.3	-57.9	-76.3	-63.2	-52.7	-39.5	-23.6	-28.9	0.0	-13.2	31.5

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2019年		2020年											前年との 増減幅
		11月	12月	1月	2月										
売 上 高	製 造 業	-26.3	-26.3	-15.8	-47.4	-78.9	-78.9	-89.5	-84.2	-84.2	-89.5	-78.9	-52.4	-42.1	-15.8
	非製造業	-26.3	-47.4	-36.8	-52.6	-52.6	-73.7	-63.1	-68.4	-73.6	-78.9	-47.4	-5.3	-52.7	-26.4
	全 業 種	-26.3	-36.8	-26.3	-50.0	-65.8	-76.3	-76.3	-76.3	-79.0	-84.2	-63.2	-29.0	-47.4	-21.1
在庫数量	製 造 業	-10.5	-15.8	-15.8	-26.3	5.2	-15.8	-15.8	-10.5	-5.3	-10.6	-26.3	-26.3	0.0	10.5
	非製造業	-16.7	-16.7	-25.0	-33.3	-33.4	-16.7	-33.3	-33.3	-25.0	-25.0	-16.6	0.0	-16.7	0.0
	全 業 種	-12.9	-16.1	-19.4	-29.0	-9.7	-16.1	-22.6	-19.4	-12.9	-16.1	-22.5	-16.1	-6.4	6.5
販売価格	製 造 業	-5.2	-5.2	-10.5	-5.3	-5.2	-10.5	-21.1	-31.6	-26.3	-26.3	-21.0	-21.0	-21.0	-15.8
	非製造業	5.3	0.0	-15.8	-21.1	-31.5	-26.3	-26.3	-15.8	-26.3	-5.3	-5.3	0.0	-10.6	-15.9
	全 業 種	0.0	-2.6	-13.1	-13.2	-18.4	-18.4	-23.6	-23.6	-26.3	-15.8	-13.2	-10.6	-15.8	-15.8
取引条件	製 造 業	0.0	0.0	-10.5	5.2	-15.8	-15.8	-10.5	-26.3	-21.1	-15.8	0.0	-5.3	-5.3	-5.3
	非製造業	-5.3	-10.5	-5.3	-21.1	-26.3	-31.6	-36.8	-36.8	-31.6	-26.3	-26.3	-21.1	-5.2	0.1
	全 業 種	-2.6	-5.3	-7.9	-7.9	-21.1	-23.7	-23.7	-31.6	-26.3	-21.1	-13.2	-13.2	-5.3	-2.7
収益状況	製 造 業	-42.1	-31.5	-47.3	-57.9	-57.9	-57.9	-73.7	-73.7	-78.9	-78.9	-73.6	-63.2	-52.7	-10.6
	非製造業	-31.5	-36.9	-26.3	-47.4	-68.4	-68.4	-73.6	-78.9	-78.9	-84.2	-52.7	-47.4	-36.8	-5.3
	全 業 種	-36.8	-34.2	-36.8	-52.6	-63.1	-63.1	-73.7	-76.3	-78.9	-81.6	-63.2	-55.3	-44.7	-7.9
資金繰り	製 造 業	-36.8	-36.8	-26.8	-36.8	-42.1	-47.4	-47.4	-52.6	-52.6	-47.4	-31.6	-36.8	-21.1	15.7
	非製造業	-15.8	-26.3	-15.8	-36.8	-57.9	-63.2	-68.4	-68.4	-63.2	-68.4	-52.6	-36.9	-26.3	-10.5
	全 業 種	-26.3	-31.6	-26.3	-36.9	-50.0	-55.3	-57.9	-60.5	-57.9	-57.9	-42.1	-36.8	-23.7	2.6
設備操業度	製 造 業	-10.5	5.2	-5.2	-21.1	-31.5	-57.9	-57.9	-57.9	-57.9	-57.9	-42.1	-42.1	-52.6	-42.1
雇用人員	製 造 業	15.8	10.6	5.3	-5.3	-5.2	-21.0	-26.3	-26.3	-26.3	-15.8	-26.3	-21.1	-15.8	-31.6
	非製造業	-10.5	-10.5	-21.1	-21.1	-26.3	-36.8	-42.1	-31.6	-36.8	-36.8	-26.3	-15.8	-26.3	-15.8
	全 業 種	2.6	0.0	-7.9	-13.1	-15.8	-28.9	-34.2	-29.0	-31.6	-26.3	-26.3	-18.4	-21.1	-23.7
景 況	製 造 業	-57.9	-47.4	-52.6	-57.9	-68.4	-78.9	-78.9	-84.2	-84.2	-84.2	-73.7	-63.2	-57.9	0.0
	非製造業	-42.1	-31.6	-36.8	-63.1	-73.1	-78.9	-78.9	-78.9	-78.9	-84.2	-73.7	-47.4	-36.8	5.3
	全 業 種	-50.0	-39.4	-44.8	-60.6	-71.1	-78.9	-78.9	-81.6	-81.6	-84.2	-73.7	-55.2	-47.4	2.6

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

回答数 38(100%)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況					
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
製造業	食料品	2	0	0	1	0	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0		
	繊維工業	1	1	1	0	2	1	0	3	0	0	3	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	3	0	0	0	3	0		
	木材・木製品	2	2	0	0	4	0	4	0	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0		
	紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
	出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1		
	化学ゴム																													
製造業	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1		
	鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0		
	一般機器	0	0	3	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	1	2		
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
	輸送用機器																													
	その他																													
非製造業	卸売業	19	6	7	6	1	16	2	1	17	1	0	19	0	3	11	5	2	16	1	3	13	3	1	18	0	1	14	4	
	小売業	100%	31.6%	36.8%	31.6%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%	0.0%	100.0%	0.0%	15.8%	57.9%	26.3%	10.5%	84.2%	5.3%	15.8%	68.4%	15.8%	5.3%	94.7%	0.0%	5.3%	73.7%	21.1%	
	商店街	1	4	1	0	4	2	0	5	1	0	6	0	1	5	0	0	6	0				0	6	0	0	5	1	1	
	サービス業	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0				0	1	0	1	0	0	0	
	建設業	1	0	3	1	1	2	0	3	1	0	3	1	1	0	3	1	0	3				0	2	2	0	1	3	3	
	運輸業	2	1	2				2	3	0	1	4	0	2	1	2	3	0	2				2	2	1	2	2	1	1	1
非製造業	建設業	0	0	1				0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0	0	0
	運輸業	1	1	0				0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0				0	2	0	0	2	0	0	0
	その他																													
	その他	19	6	6	7	2	5	4	2	15	2	1	17	1	5	9	5	3	13	3				2	14	3	3	11	5	5
非製造業	100%	31.6%	31.6%	36.8%	16.7%	41.7%	33.3%	10.5%	78.9%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%	26.3%	47.4%	26.3%	15.8%	68.4%	15.8%				10.5%	73.7%	15.8%	5.8%	57.9%	26.3%	26.3%	26.3%
	38	12	13	13	3	21	6	3	32	3	1	36	1	8	20	10	5	29	4	3	13	3	3	32	3	4	25	9	9	
	100%	31.6%	34.2%	34.2%	9.7%	67.7%	19.4%	7.9%	84.2%	7.9%	2.6%	94.7%	2.6%	21.1%	52.6%	26.3%	13.2%	76.3%	10.5%	15.8%	68.4%	15.8%	7.9%	84.2%	7.9%	10.5%	65.8%	23.7%	23.7%	

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化		
製造業	食料品	1	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1		
	繊維工業	0	0	3	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	0	3	1	0	2	0	1	2	0	2	1	0	1		
	木材・木製品	2	0	2	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0	2	2	0	4	0	2	2	0	4	0	0	0	3		
	紙・紙加工品	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1		
	出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	2	0	2	0	2	0	0	1	1	0	1		
	化学ゴム																												
製造業	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0		
	鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	2		
	一般機器	1	0	2	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	1	1	0	3	0	0	1	2	0	2	1	0	1		
	電気機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1		
	輸送用機器																												
	その他																												
非製造業	卸売業	19	4	3	12	2	15	2	1	13	5	0	18	1	2	5	12	2	11	6	1	7	11	1	14	4	0	8	11
	小売業	100%	21.1%	15.8%	63.2%	10.5%	78.9%	10.5%	5.3%	68.4%	26.3%	0.0%	94.7%	5.3%	10.5%	26.3%	63.2%	10.5%	57.9%	31.6%	5.3%	36.8%	57.9%	5.3%	73.7%	21.1%	0.0%	42.1%	57.9%
	商店街		1	3	2	0	5	1	0	4	2	0	6	0	1	4	1	0	5	1				0	6	0	0	4	2
	サービス業		0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	建設業		0	0	1																			0	1	3	0	0	4
	運輸業		0	0	2																			0	1	3	1	1	1
非製造業	その他																												
		19	2	5	12	1	7	3	2	13	4	1	16	2	3	6	10	2	10	7				0	14	5	3	6	10
	100%	10.5%	26.3%	63.2%	8.3%	58.3%	25.0%	10.5%	68.4%	21.1%	5.3%	84.2%	10.5%	15.8%	31.6%	52.6%	10.5%	52.6%	36.8%				0.0%	73.7%	26.3%	15.8%	31.6%	52.6%	
非製造業		38	6	8	24	3	22	5	3	26	9	1	34	3	5	11	22	4	21	13	1	7	11	1	28	9	3	14	21
	100%	15.8%	21.1%	63.2%	9.7%	71.0%	16.1%	7.9%	68.4%	23.7%	2.6%</																		